

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 4168  
21年7月20日(木)  
Tel・Fax 095-828-1953

おはようございます。

## 楽天との業務提携は起死回生となるか？

新型コロナウイルス感染症は、東京を中心に全国で再拡大しています。長崎市でも、クラスターが発生するなど第5波の予兆が見えてきました。しかし頼みのワクチン接種は思うように進んでいないのが現状です。感染収束まで、油断せず感染対策を引き続き行いましょう。

コロナ禍による巣ごもり消費の拡大により、EC荷物が増加したことで宅配大手3社（ヤマト運輸、佐川急便、日本郵便）の2020年度宅配便取り扱い個数は45億個を超えました。3社の純増個数は5億個となっていて、日本郵便のゆうパックは対前年比11.9%増となっています。

コロナの終息が見えない中、この傾向は2021年度以降も続く見込みで宅配便の取り扱い個数は50億個を超える事も予想されています。



ところで、現在お中元ゆうパック繁忙期真っ只中ですが、宅配便市場の予想とは裏腹にゆうパックの取り扱い個数が減少していて、遅配なども発生せず現場は落ち着いています。

要因としてお中元を贈る風習が以前より薄れてきているのがありますが、アマゾンゆうパックが他社に流れた影響も大きいと思われる。

実際、2021年4月期のゆうパックの引き受け個数は8,067万個で対前年比▲13.9%となつています。また、ゆうパケットについても昨年10月のメルカリ便の料金改定が影響し対前

年比▲21.3%となっています。宅配便全体の取り扱い個数が右肩上がりに増加している中で、日本郵便だけ対前年比▲では、他の大手2社（ヤマト運輸、佐川急便）との差は開くばかりです。

そんな中、日本郵便は楽天と資本業務提携を発表し、5月には楽天と日本郵便の合弁会社JPL楽天ロジステイクスを7月に設立する事を発表しました。この業務提携により楽天のEC荷物は、ゆうパックでの取り扱いになると思いますが、他社に流れたアマゾンゆうパックの穴を埋める事ができるのでしょうか？



遊れば日通のペリカン便との統合、ツール社の買収など、経営陣の甘い読みによる事業拡大はことごとく失敗しています。

そして失敗による損失は、ボーナスカット、賃上げの抑制など直接関係ない一般社員にまで負担を強いることになりました。



メルカリ便ゆうパケットの料金改定（値上げ）も少々の値上げでは利用者は流れないだろうと言う甘い読みで結果、ヤマト運輸のネコポスに流れちゃいました。ゆうパケットポストなどの新商品を発売したものの一旦離れた利用者は簡単には戻ってきません。

楽天との業務提携が起死回生となるか、失敗に終わるかは分かりませんが、経営陣の失敗による負担を社員に強いること



だけは勘弁してもらいたいです。  
郵便サービスの見直しに伴う、社員の意向確認が実施されています

先日の未来（4166号）で、郵便サービスの見直しに伴う社員の意向確認（対話）の実施の件を掲載しましたが、皆さん管理者との対話は終わりましたか？

対話を終了した集配営業部の社員の話では、基本は土曜非番、日曜週休になりますと言われています。また、業務量の変化による異動に関して質問をしたところ、異動は正社員で対応すると言われていました。

集配部では土曜休配が大きなサービスの見直しです。土曜日の通配区が休配になることで土、日勤務が一部の社員に集中したり、他局を含む異動が発令されたり、平日に休みにくくなるなど色々な問題が出てきます。不安に思っていることがあれば、ユニオンに相談に来て下さい。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員に正社員化を。

ゆげ、均等待遇、なげんご差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！